



## 「マス・フェスタ」で発表しました！

全国の SSH 校が数学の課題研究の成果を発表する「第8回マス・フェスタ（全国数学生徒研究発表会）」が京都大学百周年時計台記念館を会場に、平成 28 年 8 月 27 日（土）に行われました。参加校数は 62 校。本校からは、3 年生 3 名が「Eゾーンにおける数学の一考察」の課題研究を発表しました。

開会式の後、国際交流ホールに移動し、口頭発表およびポスター発表を行いました。口頭発表では、自分たちの研究した成果を、自らの言葉で堂々と発表していました。指導助言をされた大学の先生方からは、プレゼンの仕方やパワーポイントの作成の仕方といった発表に関する具体的なアドバイスとともに、「Eゾーンというものに目をつけたところが目から鱗だ」というお褒めの言葉も頂くことができました。またポスター発表の際には、質問をされた方に対して非常に丁寧な説明を行っていました。

数学班の課題研究の集大成となるこの会で、今までの研究の成果をしっかりと発表することができたのではないかと思います。同行した 2 年生の生徒たちも他校の素晴らしい研究発表を聴き、大いに刺激を受けてきました。今後、さらに研究を進めていき、来年度この場でどのような発表を行うことができるか非常に楽しみです。

午後は大学の教授による講演会に参加しました。難解な大学数学の説明を理解しようと真剣に耳を傾けていました。高度な数学に触れることで、数学の面白さを一層感じ取ることができました。

最後に閉会式が行われ、生徒研究発表会が終了しました。

全国の SSH 校の研究成果に触れ、本校の生徒も大変刺激を受けました。3 年生、2 年生ともに様々な学びを得ることができ、とてもよい機会になりました。ぜひ今後活かして行ってほしいです。

### 参加した生徒の感想

- 数学をより一層学びたいと思った。
- 大学教授の講演会では数学の難しさ、深さを感じた。
- 火災シミュレーションや渋滞予測など様々な分野の発表があり興味深かった。
- 指導者の方からお褒めの言葉もいただきうれしかった。

